

活動名 東城応援隊(地域おこしボランティア活動)	団体名	まちなみ保存振興会(東城応援隊)
	地域	広島県庄原市
	代表者	会長 横山 和明
	支援金額	25万円
活動概要		
<p>「東城応援隊」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東城地域の伝統的なお祭りやイベントに高校生が観光ボランティアとして積極的に参加することで、地域行事を盛り上げ、地域の活性化に寄与する。 ・高校生が地域の大人と連携をとって地域活性化策を検討し、学生と一緒に地域貢献活動を行うことで、地域の将来を担う人材育成に繋げる。 <p>◆実施時期</p> <ol style="list-style-type: none"> ①東城まちなみ春まつり(4月, 庄原市東城町) ②町内清掃活動(7月・10月, 庄原市東城町) ③帝釈峡ウオークラリー(7月, 帝釈峡) ④東城まちなみぶらり散歩ギャラリー(11月, 庄原市東城町) ⑤お通り(大名行列)(11月, 庄原市東城町) <p>◆参加人数</p> <ol style="list-style-type: none"> ①49名 ②63名 ③5名 ④19名 ⑤22名 <p style="text-align: right;">参加総人員：158名</p>		



お祭り準備



タブレット活用



駅舎清掃



観光ガイド

◆実施に伴う効果

- ①地元の中高生が地域活性化のために活動している姿が、東城町を訪れる観光客に好印象を与え、もてなしに感謝していただくことで、東城町や行事のイメージアップに繋がっている。
- ②地域の商店街から、中高生の参加で行事に活気が出ると評価していただいている。
- ③中高生の社会性・主体性・自律性等を育成する上で、地域と連携したボランティア活動等の体験活動は大変有効であった。
- ④中学生と高校生という異年齢集団が協働して活動することは、地域との繋がりを強め、それぞれの成長に繋がった。
- ⑤高校生が地域の魅力について学び、地域の大人と連携して地域の活性化について考えることができたことは、将来地域を担う人材育成に繋がる。

◆苦勞した点

- ①東城町の商工会や学校関係をはじめ地域からの理解も得られており、概ね円滑に活動が展開できた。地域からも高い評価をいただいている。
- ②高校生と中学生が事前に学習会を実施することが難しいため、当日の打ち合わせの中でマナー指導や役割分担を行っている。そのため、十分な事前指導ができないので、実際に活動しながらスキルを高めている。今後は、ガイドの方法についての質の向上が課題となる。
- ③地元東城町では「東城応援隊」の存在は定着しているが、庄原市全体や市外に於いては十分に知られていない。東城町の魅力発信の一部として、この活動を発信することが必要である。

◆今後の課題・発展の方向性

- ①タブレットを活用した効果的な観光案内のためのコンテンツの作成や、海外にも東城町のまちなみや帝釈峡の魅力を発信できるように、外国語（英語・台湾語）に対応したガイドマップを作成する計画を進める。
- ②観光ガイドの説明の質を高めるために、講師を招いた中高生対象の学習会を実施すると共に、各々が事前に学習をして参加することが望ましい。
- ③東城の観光資源のPRを促進する意味でも、中高生の活動を広報することは有効と考えるので、今回、マツダ財団の支援で実現したポスターをさらに活用し、ホームページ等他の広報の方法についても検討していきたい。

◆活動を終えての感想・意見等

参加した生徒は活動を通して、地域への愛着や自己有用感を高めており、楽しんで参加をしています。「地域のために役立ちたい」という中高生の純粋な気持ちに、大人が応え支援することが、将来地域に貢献したいという思いに繋がり、生徒に展望と勇気を与えます。このような関係こそが、中山間地域の将来を考える上で大切であることを、活動を通して実感することができました。マツダ財団の支援をいただいたことで、これまで実現できなかったことがいくつも可能となり、活動の幅が広がり、参加者の意欲向上に繋がったことに感謝いたします。

地域に貢献しようとする若者の思いを、地元広島県を代表する企業によって支援いただくことは、生徒達の郷土愛や広島県への誇りを育てることに繋がったと感じています。